

がん医療フォーラム2012

地域で支える 新しいがん医療のかたち

日時 2012年11月11日(日) 13:00~16:00

会場 大手町サンケイプラザ ホール(東京都千代田区大手町 1-7-2)

対象 がんの患者さんの療養支援について関心のある一般の方、ご家族、
医療従事者、研究者、介護福祉関係者、行政担当者など

プログラム

開催あいさつ

国立がん研究センター理事長 堀田 知光
がん研究会有明病院長 門田 守人
東京大学大学院人文社会系研究科特任教授 清水 哲郎
正力厚生会理事長 辻 哲夫

第1部 フォーラム

「地域における緩和ケアと療養支援情報プロジェクト」

渡邊 清高(国立がん研究センターがん対策情報センター)

「緩和ケアのこれまでとこれから」

河原 正典(爽秋会岡部医院)

ビデオメッセージ:岡部 健(爽秋会)

コーディネーター:南 砂(読売新聞東京本社医療情報部長)

..... 休憩

第2部 シンポジウム

「患者と家族の視点から考える地域の緩和ケア」

モデレーター:清水哲郎(東京大学)、田代志門(昭和大学)

シンポジスト:松本陽子(愛媛がんサポートおれんじの会)

相澤 出(爽秋会岡部医院)

中山康子(在宅緩和ケア支援センター“虹”)

的場元弘(国立がん研究センター中央病院)

まとめ

唐渡敦也(がん研究会有明病院)



共催: 独立行政法人国立がん研究センター 公益財団法人がん研究会 東京大学死生学・応用倫理センター
後援: 公益財団法人正力厚生会、厚生労働省、読売新聞社

このフォーラムは正力厚生会の助成金が活用されています